

酷暑の夏が終わり、高原を渡ってくる風も涼しく、校庭の周りもすっかり秋めいてきました。

今年の夏の PTA プールでは、予定された 12 回すべて実施することができました。当たり前のことのようにではありますが、各所でプールがやむなく中止された中、今年は格別、有難いことだと感謝しています。

暑い中プールサイドで監視等に当たってくださった保護者の皆様、本当にありがとうございました。お陰で、多い回で参加児童 56 名。平均 48 名の児童が、元気にプールを楽しむことができました。

ところで、夏の野外活動で星空観察をする時、私が子どもたちによくする話が「願い星」のお話です。昔からある「流れ星が流れている間に、願い事を 3 回繰り返すことができれば、願い事はきっと叶う」のエピソードです。その話をすると、子どもたちは流れ星を待ちながら唱える練習をしますが、やがて、「そんなこと出来るはずがない。」と言い始めます。でも、そんな子どもたちに、続けて話をします。「その願い事を片時も忘れず、何度も口に出して唱えていると、とっさの時にでも、すぐに口に出して言えるようになるかもしれない。もし、言えなくても、長い間ずっと忘れずに唱え続けられた願いは、やがて叶えられるはずである。」…と。

私たち指導者や親にとっても、子どもたちにとっても「強く願う」「願い続ける」ことは、本当に大事です。2 学期も、学校教育目標や目指す子ども像「かしこい子・たくましい子・さわやかな子」を唱え続けながら、目の前の子もたちと共に教育活動を行っていきます。皆様のご支援・ご協力を宜しくお願い致します。



〈校庭から見える宵の明星〉

校長 爲平 祐嗣